

1 - 2 北海道とその周辺の最近の地震活動 (1986 年 12 月～1987 年 5 月)

Recent Seismic Activity in and around Hokkaido (December, 1986 - May, 1987)

北海道大学 理学部

Faculty of Science, Hokkaido University

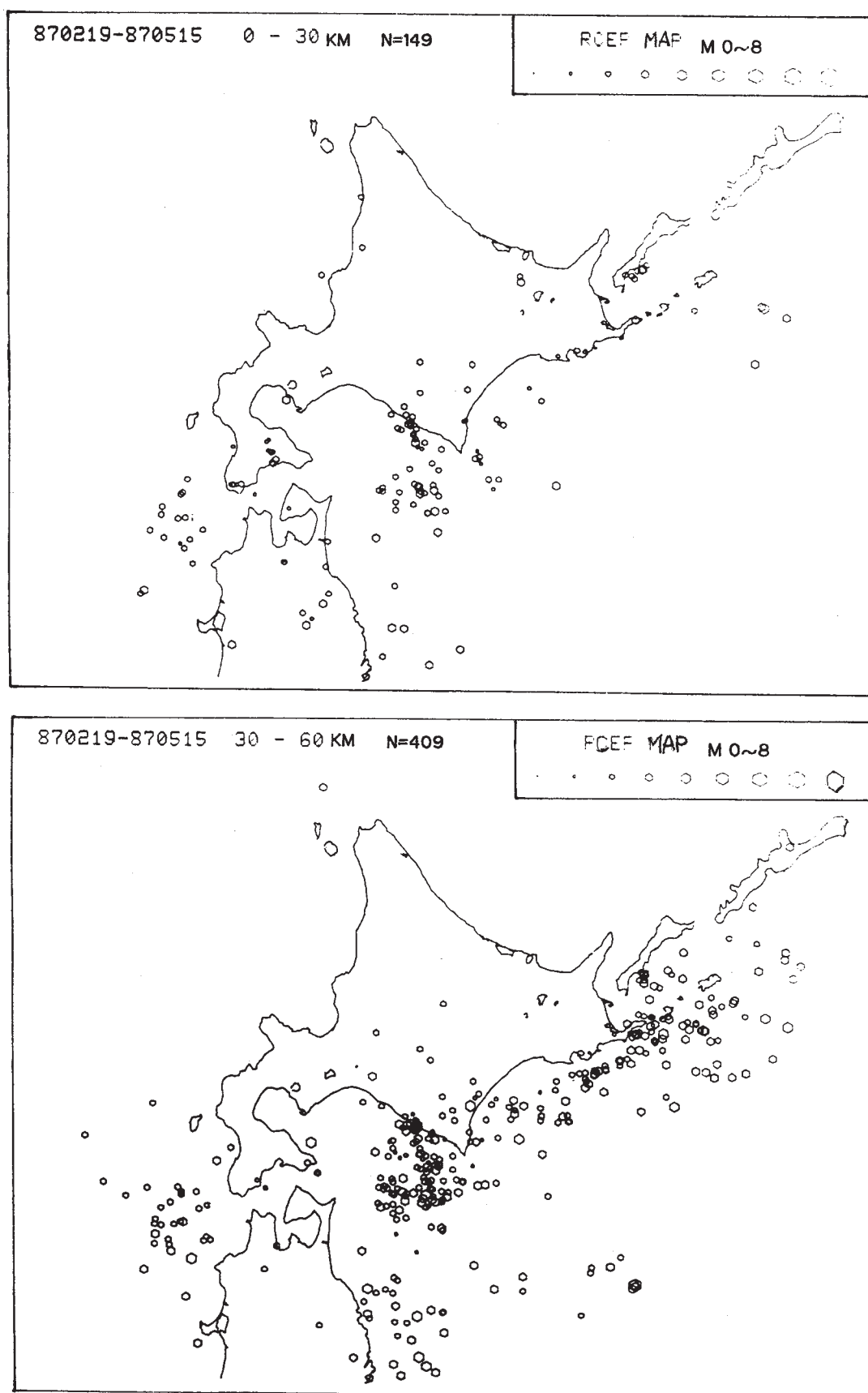
この期間の浅発地震の震央分布を第 1 図に示す。1986 年 11 月 13 日の沼田町付近の地震¹⁾ (M5.3) の余震とみられる地震が 1987 年 2 月頃まで発生している。

1987 年 1 月の地震活動は大変活発であった (第 2 図)。9 日に東北地方宮古付近で発生した M6.6 の地震とその余震活動につづいて、14 日には日高山脈下で M6.9 の少々深発地震 (深さ 115km) が発生し、この地震でも多数の余震が観測された (第 3 図)。この地震は深発地震 2 重面の下面で発生したものである。また、この近くには 1982 年浦河沖地震 (M7.1) が発生しており、これらの地震を含む北北西-南南東の断面上に、沼田町の地震が発生している (第 2 図)。さらにまた、1 月 16 日に厚岸沖に発生した M5.3 の地震も本震の規模が小さいわりには多数の余震を伴った点で注目すべきものである。

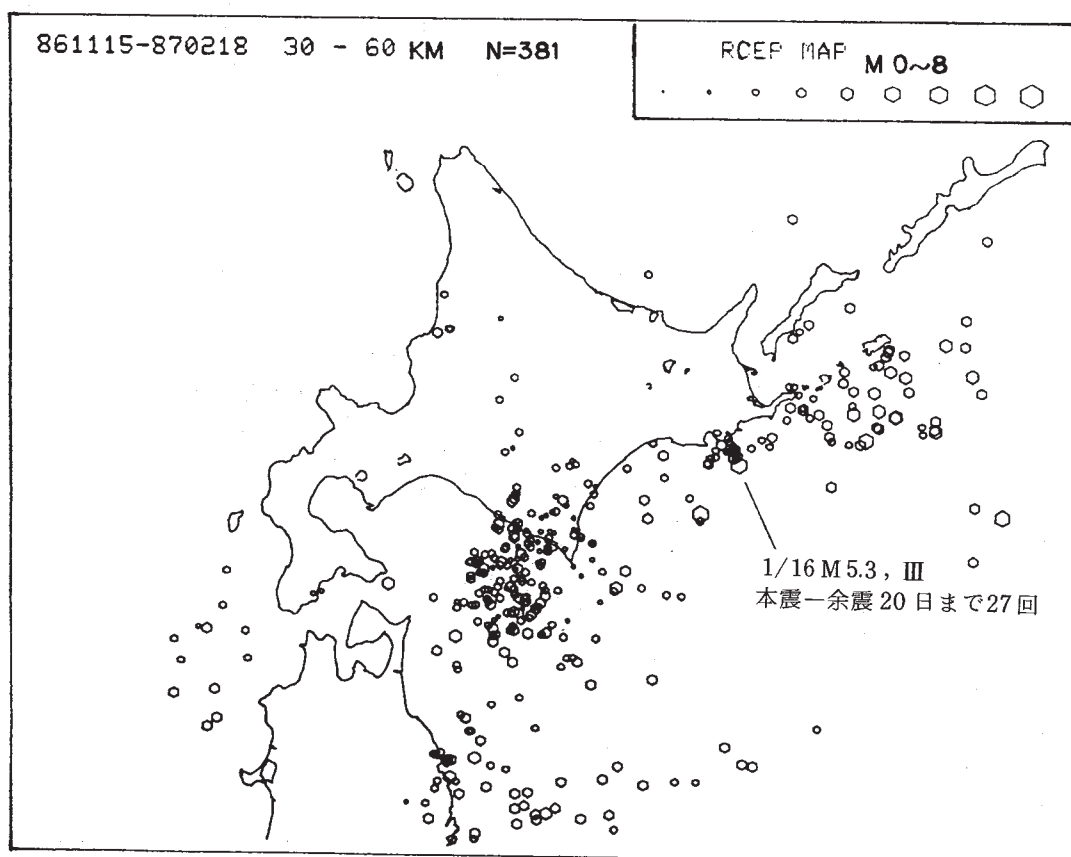
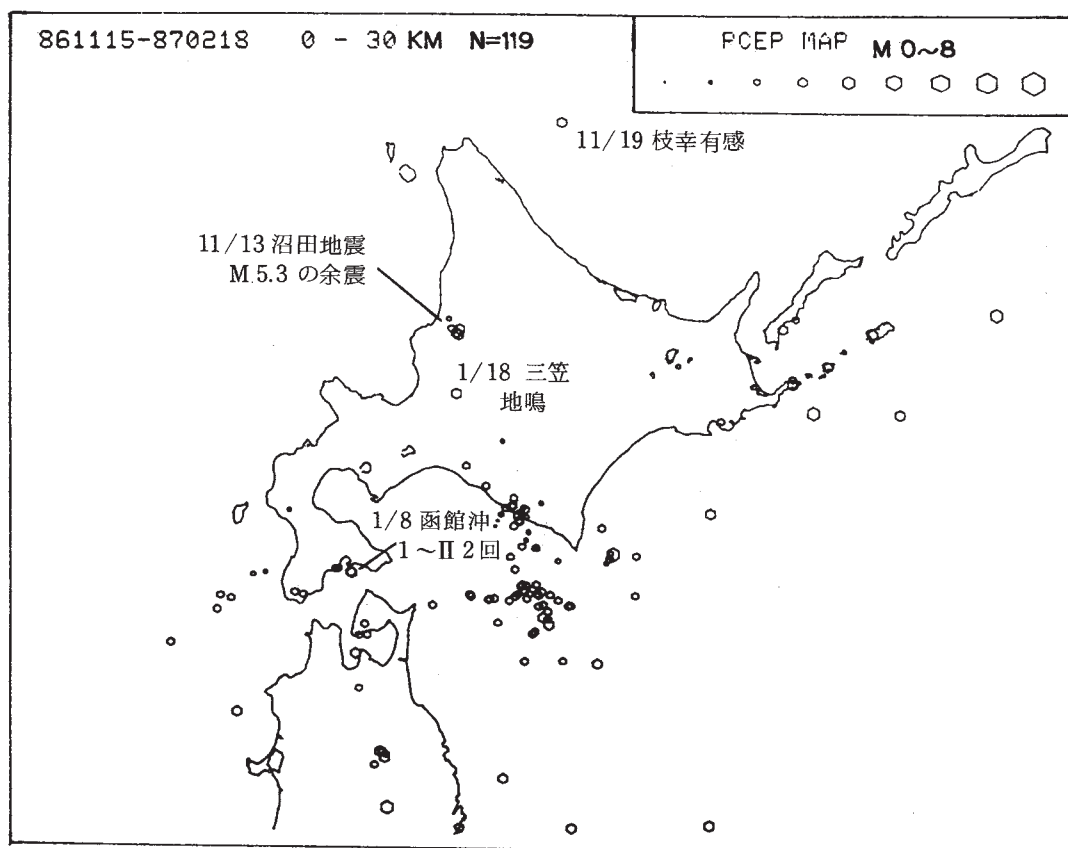
1987 年 2 月以降、オホーツク海、日本海北部の深発地震活動が活発になった。とくに、5 月 7 日にサハリンはるか東方沖に発生した深さ 440km、M6.8 の大きな深発地震は珍しいものであった。

参 考 文 献

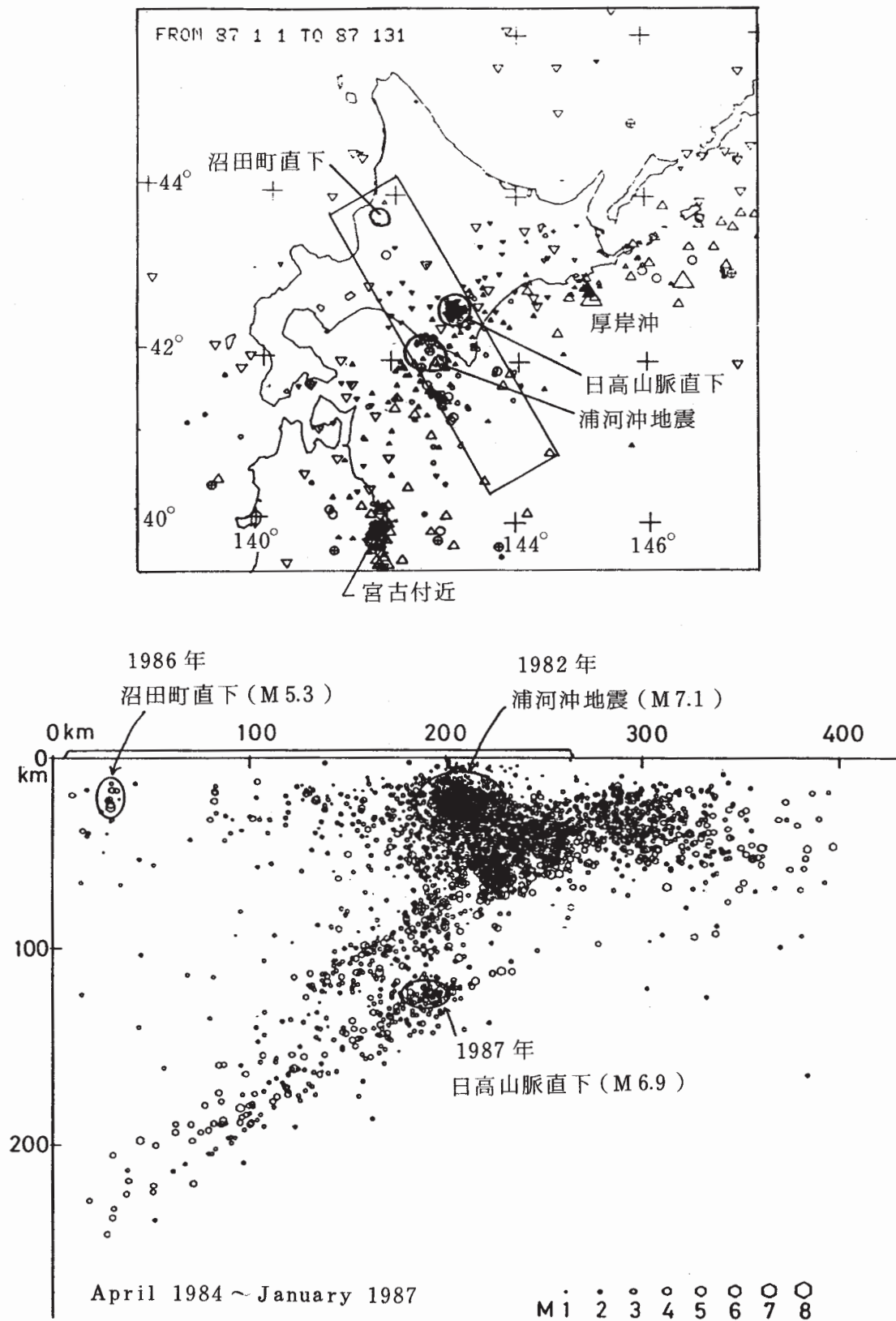
- 1) 鈴木貞臣・岡山宗夫・石川春義・本谷義信：1986 年 11 月 13 日北海道沼田町付近の地震 (M5.3) の概要と活動の推移，北海道地区自然災害科学資料センター報告，1 (1987)，3 - 9.



第1図 北海道とその周辺の浅発地震の震央分布
 Fig. 1 Epicenter distributions of shallow earthquakes in and around Hokkaido.



第 1 図 つづき
Fig. 1 (continued)

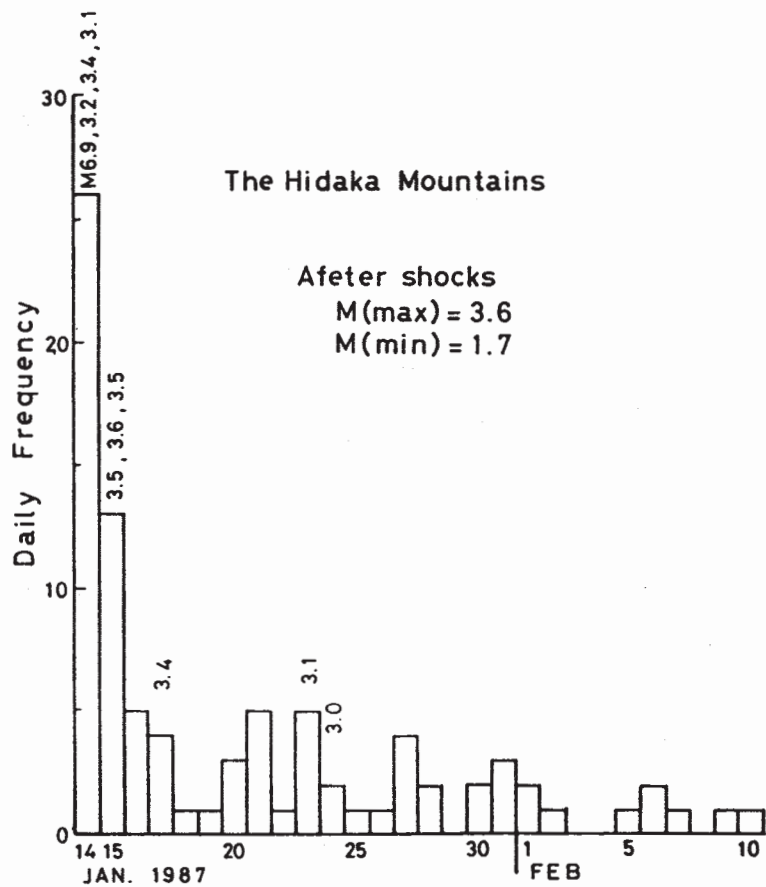


第2図(上) 1987年1月の震央分布

Fig. 2 (Upper) Epicenter distribution of earthquakes in January, 1987.

第2図(下) 上図矩形部分の地震の深さ断面図

(Lower) Vertical cross section of events in the rectangle in the upper figure.



第 3 図 1987 年 1 月 19 日, 日高山脈地震 (M6.9) の余震回数

Fig. 3 Daily number of aftershocks of Hidaka Mountain Earthquake (M 6.9, h =115km) on January 14, 1987.